

## 世界にたった一つの宝物

六年 佐野心海

私は、小さい頃からペットショップに行つて犬を見るのが好きでした。犬はともかわいくて、いつか犬を飼うことが夢になっていました。私は、父と母に

「犬を飼いたいな」

とお願ひしてみました。すると、父と母に

「犬も人間と同じ大切な命。中途半ばな気持ちでは飼えないよ。」

と言われました。でも私は、責任を持つて育てるから、犬を飼いたいと強く思いました。

それから、毎日インターネット等で犬を探しました。そして、昨年九月に運命を感じる犬に出会いました。私は、両親に

「責任持つて育てるから、この犬を飼いたい。」と今までで一番本気な思ひで、お願ひしました。そして、その犬を家族に迎え入れる事が出来ました。私は夢かと思ふくらいうれしかったです。

その日から、私達家族と愛犬との生活が始まり、愛犬は病気もケガもなく、元気に成長してくれました。でも、ご飯を食べなくなったり、突然吐いたり、心配事が増えてきました。私はこんな時、犬とお話が出来たら私も犬も楽になるのになと思ひました。でも、犬は話すことが出来ないの、行動や表情などを常に確認して、犬の気持ちを理解してあげたいなと思ひました。そして、愛犬と少しでもお話ができるとしたら、「今、幸せに暮らせているかな？」と聞いてみたいのです。そして、愛犬に幸せだよと言つてもらえるように、沢山の愛を注ぎ、ずっと側にいて大切に育てたいです。愛犬に長生きしてもらうために、私は出来る限りの事をやっています。愛犬がさみしい思ひをしないように留守番させる時間を減らしたり、環境を整えたりしています。そして、私は愛犬を長生きさせるため、他の動物の命を救うためにも将来、獣医師になりたいと思ひています。そのために、夢に一步でも近づけるようにがんばりたいです。

また、今現在、無責任な飼ひ主のせいで、保護されるペットが沢山います。保護された動物は、引き取り手が見つかるまで保健所で生活しますが、一定期間保つても、引き取り手が見付からない場合は殺処分されてしまいます。何の罪のないかわい動物が、人間の手によつて殺されてしまうなんて本当に信じられません。だから私は、殺処分ゼロになるように、インターネットで保護されている動物を飼つてくれる人を探したり、動物保護団体の活動に協力したりしたいです。

愛犬を飼つて、獣医師になりたいという夢が出来たり、沢山のいやしをもらつて、私も毎日幸せです。一分一秒でも愛犬と長く生活できるように、出来るだけの愛を注ぎ、一生大切に育てます。愛犬が、私の家族になつてくれたこと、私の宝物になつてくれたこと、本当によかつたし、感謝の気持ちでいっぱいです。